

高校1年生 学外授業（企画展「高知家の宝もの」鑑賞）

4月25日（金）と5月1日（木）の2日間、高知県立美術館で開催中の企画展「高知家の宝もの」に、高校1年生の美術科目選択の生徒が3班に分かれて、美術担当教員の西悟先生引率のもと見学に行きました。厳選された数々の素晴らしい作品を生徒たちは熱心に鑑賞していました。



掲載写真は5月1日（木）撮影。高知県立美術館許諾済。

展示作品は全館使い、6つのテーマ（肖像、愛と祈り、詩と画の小宇宙、戦争の痛みから、巨大な景色、拡張する芸術）で分けられ、非常に鑑賞しやすいものとなっていた。

生の芸術作品、それも世界的に価値のある作品に触れることは生徒たちにとって、すばらしい体験になり、これからの彼らの人生において大きな影響を及ぼすだろう。

美術の授業において制作することから感性を広げる、さらに技術を習得することは重要だが、さらに鑑賞する目を養うことは非常に大事である。彼らが成人し、そしてこの日本という国を背負っていく時、高校時代に体験する芸術鑑賞は少なからず良い影響を生み出すと考えている。（美術担当教員 西 悟）